

第13回 コラム集「こどもと共に育つ」

コラム集「こどもと共に育つ」の第13回目になります。こどものひろばで活動し、現在も子どもに関わっておられる方にそれぞれコラムを書いてもらっています。小学校教諭、スクールソーシャルワーカー、カウンセラー、介護福祉士、ユースワーカーという様々な立場の5名の方に、日常の出来事や子どもたちを取り巻く環境などそれぞれの目線でコラムを書いてもらっていますので、ぜひご覧ください。バックナンバーはホームページ最下部にある専用ページ（コッペパン コラム集「こどもと共に育つ」）からご覧いただけます。

帰宅時の息子の笑顔にメロメロなつです。

今年度初回なので、仕事のことを書こうと思います。

今年度は6年生の担任をしております。発表された瞬間から、「しんどい時期を含め6年間数々の先生方が繋いできた」という責任、「最後の年に崩れるわけにはいかない」というプレッシャー等々を勝手に感じております。

始動してから約2ヶ月。現在の小学6年生はコロナ禍で経験していない人生初の入学式の手伝いから始まり、1年生の身の回りの手伝いをしに行ったり、行事を盛り上げるために企画をしたり、学校全体のことにかける時間が圧倒的に多いです。そこで見せる子供達が主体的に動く姿に、6年間の積み上げや教育の凄さを実感しております。そしてその子供の姿に自分自身も教員として頑張らねばという想いに駆られます。(特に学習は圧倒的に難しくなるので、毎日必死です。笑)

同じ1年だけれど、特別な1年を元気な子供と共に楽しみながら過ごしたいと思います。

写真は全く関係ないですが、地元奈良の彩華ラーメンのポテトが売っていたので思わず買ったという写真です。ここ数年改めて奈良の良さを実感しております。笑



こんにちは！今年度も引き続きコラムを書かせていただきます。さとみんです。よろしくお願いします！

介護福祉士としてデイサービスで勤務していましたが、この4月に第2子となる女の子が生まれ、現在は育休中です。7年ぶりのお産は、長男の時よりも時間がかかり、めっちゃ痛かったなということが1番の思い出ですが、産声を聞いた瞬間の安堵感は今も覚えています。

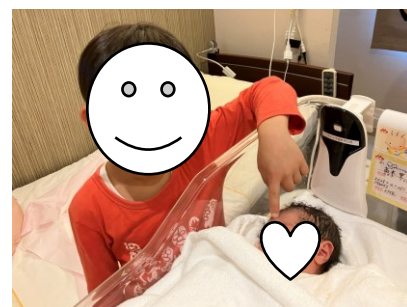
私の夫は男3人の長男なのですが、義実家初の女の子として産まれてきた我が子は、姫として可愛がられ、長男は両家初孫で、今も孫界の王として君臨しています。

そんな長男は1年生となり、保育園楽しかったな…保育園がよかったなと言いつつも、毎日元気に学校へ通ってくれており、ありがたいと思いつつも、宿題イヤイヤ期に腹をたててしまっています。

学生時代自己肯定感の重要性を学んで活動していたはずなのに、我が子が頑張っていることは分かっているのに、もっともっとと期待してしまいますね…

親も成長していかないと。

そして3月に卒園式の記念品のゴタゴタが終わったと思いきや、今度はPTA役員がやってきました。運がいいのか悪いのか、係の副委員長を引き当てる…今年は年末ジャンボでも買おうかな。



お久しぶりです元不登校のたくとです。今日もつらつらと思いのままに書いていこうと思いますが、書いている今日は6/5、「あっ」という間にもう6月！そして梅雨入り前なのに暑い！みなさん気温の変化に体調崩されていないでしょうか？私の周りでは、「最近、体調わるいんです。」という声をちらほら耳にしますし、子どもの様子を見ていてもしんどくなる時期なんだと感じさせられます。

さてさて、私ごとではありますが、今年30歳になりました。年々、「あっ」という間にということが増えてきておりますが、こどものひろばに関わりだしてから気がつけば7、8年という年月が経ちました。入職当時、

関わっていた小学生の子どもたちは成人したり、二十歳をこえるようになり、冗談だと思っていた、「大人になったら飲みにいこうな」が現実におこるようになったのです。実際「当時、お世話になったので」と焼肉をご馳走になってしまうようなことまでありました。



のびのびで行う、週に一回、月に一回の〇〇さんのための活動は終わったけれど、「また集まりたいな！同窓会しような！」と伝えるのは僕たちが彼らのこれからに期待して応援しているから伝えるし、また会って近況聞きたいと思うからだと思います。今関わっている子どもたちにとっても、活動の中で出会っている僕ら大人たちが、「また（来週）会いたい」「またこの人と話したい」「またこの場に来たい」と思えるような、“意味のある他者”になれていれば、継続して活動にも来てくれるし、同窓会にも顔をだしてくれると思っています。

私自身、不登校をしているときに、「この人になら話せる」「聞いてほしい」と思えるような“意味のある他者”が何人か居てくれましたし、その人たちがなくて今の自分はないと言いきれます。渦中にある時はもちろん、いまでも定期的に会って、報告したいなと思える人たちです。

私がこどものひろばで楽習サポートののびのびに関わり始めた当初から数えたら7、8年。当時の自分に辛いことや嬉しいこと、ともに育ち合うということ含めていろいろと教えてくれた子どもたちが、この4月で社会人になりました。そんな彼らにとって今度は自分が“意味のある他者”になれていたら嬉しいなと思います。



こんにちは。やもりです。

新年度が始まりもう2か月経ちましたね。年々時が経つのが早すぎます。みなさんはどんな新年度を迎えましたか？僕は、昨年度末で大学時から数えて15年以上関わってきた「子ども・若者支援」を一旦離れて、4月から社会福祉協議会へ転職をして働いています。理由は、地域の中で孤立する子ども・若者が安心して他者関係を築ける地域づくりに取り組みたいと思ったからです。「地域づくり＝社協やん」って感じて転職を決めました。なのでマインドはまだまだ子ども・若者を軸としてあり続けたいなと思ってます。ちなみに配属は成年後見制度の部署になりました。成年…後年…、響きは良いけど何するんやろう…、福祉のテキストで目にしたことあるけど…、と思いながら2か月経ちました。内容は財産管理や身上保護を仕事として、ひとりで物事を決めることが難しかったり、心配な人、身近に頼る人がいない人の想いを聴き取り、意思決定のお手伝いをしています。次回からは、てんやわんやしながら働いているであろう中で感じることなどを書いていけたらと思います。



ピーちゃんです。ここ最近、“自己肯定感を高めるには？”という相談を受けることが複数ありました。なので今回は自己肯定感のことを。

まず、自己肯定感とは、“ありのままの自分を受け入れ、自分の存在を肯定する感覚”のことです。他人と比較して考える、0か100で考えてしまう傾向がある人は自己肯定感が低くなりやすいかもしれません。

そんな人に対して、

- ①少しでもできたところを見つける
- ②「まあいっか」を大事にする
- ③自分の得意なこと、好きなことを大切に

この3つを思い出してもらえたらなと思います。結果が上手くいかなかった

時は、過程を1つずつ分けて考えて、その中で頑張った、できたところを1つでも見つけて自分を認めちゃいましょう。

とはいえ、私も余裕が無い日は0か100で考えて落ち込むことはよくあるので、上手く意識できない時は「まあいっか」と1回声に出して、好きなことをしたり、気分転換して一旦その出来事から遠ざかっちゃいましょう。

